

投稿●ソプラノ歌手・山本愛子さんが音楽の デリバリーサービスを始めています

加藤一晴 加藤醫院院長（浜松市）

コツコツとした啓発活動

これは、浜松出身のソプラノ歌手の山本愛子さんが、現在開催中のサービスである。お祝い事やホームパーティーに出かけ、そこで生歌を披露するものである。4年前に地元浜松に戻り様々な環境で、オペラを歌ってきた。

会場は数名から1000名で、可能な限りパフォーマンスをしてきた。しかし、ここ3年あまりコロナ禍のため、活動は思うようになかったが、コツコツとした啓発活動は次第に花開きつつある。

実は、山本愛子さんは小生の同級生の長女で、中学校卒業後に私立学

芸高等学校音楽科（1902年創立）トランペット専攻に進んだ。卒業後は、米国サンフランシスコ音楽院（1917年創立）で声楽を学び音楽学士号取得。そして帰国後に東京で役員秘書をしていたが、2019年より浜松に拠点を移し様々な演奏会に出演している。



山本愛子さん

当院百周年でのアトラクション

令和4年10月、加藤醫院は「開院百周年記念」イベントを開催した。その際、愛子さんにはザ・ハマナコ2階のロイヤルホールで美声を披露していただいた。バスケットコート3面分の会場に響き渡る声量は圧巻で、大勢の聴衆は飲食も忘れるくらいに魅了された。この逸材をもう少し広めなければならぬと密かに決意した。

6年間の米国留学で得たもの

18歳から6年間、米国で生活した愛子さんだが、いちばん多感な時期を異なる環境で体験した。それは従順に群れさせられる日本ではなく、自らの意見を伝えなければならぬ環境だった。浜松に生まれ、米国に留学し、東京で就職した愛子さんは、誰よりも俯瞰的な視野の持ち主である。

浜松市には一流の楽器メーカーが

扱われるが、支援者の存在と時間が必要とされる。愛子さんの闘いは始まったばかりなのだ。

山本愛子ホームページ

<https://aikosoprano.wixsite.com/operaiiko/profile>

投稿●電磁波放出家電・商品を使う暮らしで、 健康被害を気にし、苦にすることは悪循環では？

西本誠一 千葉県市川市

同僚から聞かれた 電子レンジ使用の有無

同僚の一人が「お前の家では電子レンジを使っているのか」と、真顔で聞いて来ました。「使っているよ。けっこう便利だね」と言うと、そうかと言って黙ってしまいました。変なことを聞くなと思ひ、訳を聞くと、「家内が電磁波は危ないから、電子レンジは使わないと言うんだ。どう思う」と言ったのです。

同僚には、「電子レンジを使わなくても生活は出来るし、それでいいんじゃないか」と言ったのですが、

その時のことが気になって、後日、電子レンジと電磁波のことを調べてみました。

確かに、スイッチを入れれば電磁波は放出されます。それは掃除機も同じで、他の家電製品に比べればトップレベルであることを知りました。ただし、電子レンジや掃除機の使用は瞬間的と言ってよく、電気こたつ、ホットカーペットも電磁波を放出するので、使用時間のことからすると、危なさや健康被害があるなら電子レンジ以上だと思ひました。

電磁波の健康被害を気にする同僚の奥さんは、最近のLEDという蛍

投稿

そう考えた愛子さんは、2022年『オペライコ』を設立し、気軽に音楽をオーダーできるミュージックデリバリーとして音楽サービス提供を開始した。浜松という地域は、もともと音楽スキルの高い街であるが、ホンモノに触れて、心から音楽の琴線に触れている人たちは多いだろうか。

直接愛子さんの歌を聴くことで、「これは素晴らしいね、応援したいね・・・」と心から思えるように、微力ながら支援できればと考えている。芸術家はそれを極めることで評

浜松を『音楽の都』に！

あり、音響設備の行き届いたホールもあり、巷では音楽の街と言われている。しかし、音楽を生業にしている人は少なく、音楽家の経済的自立は困難なのである。つまり、ハードウェアは完璧でも、ソフトウェアが煮詰まっていないのだ。それらを解消するには、自らが行動するしかないと考え、その後に活動を展開している。